



とよおか

第 50 号

平成22年10月20日

# 議会だより

発行／豊丘村議会 編集／議会だより編集委員会 印刷／龍共印刷株式会社



技能オリンピック予選で入賞し全国大会へ 三島大和さん(佐原四)

9月定例会



第3回定例会のようす・決算特別委員会の質疑より	2～5
補正予算とその質疑	6～7
一般質問・議会活動報告	8～14
委員会だより	15
「私の一言」・私がんばっています・編集後記	16



この議会だよりは、再生紙を使用しています



秋の味覚 松茸

当初の予想をはるかに上回る大豊作

# 第3回定例会

## ◎財政運営は良好

### —21年度決算を認定—

### 22年度一般会計 5億1千2百万円余を追加補正

第三回定例会は、九月三日より二十一日までの十九日間の会期で行われた。

今定例会には、二十一年度決算を主として七会計の決算認定をはじめ、補正予算案四件、定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結一件、長野県地方税滞納整理機構の設立案一件、請願・陳情三件が上程された。

これらの全ては、各委員会に付託され、決算認定には分科会を含む決算特別委員会でのべ六日間の時間をかけ審査が行われ、その他の案件は、予算特別委員会、常任委員会での審査を経て、二十一日の最終日に本会議に於いて、認定・可決された。

ただ、最終日に上程された教育委員会委員の任命についての同意案は、否同意となった。

**二十一年度  
村税は  
四・七パーセント  
の落ち込み**

要は、二十一年度一般会計の決算概要は、

歳入総額

四十三億二千一万三千円

歳出総額

三十七億五千百五十五万七千円

歳入歳出差引額

五億六千八百四十五万六千円

となり、二十年度に比べ、歳入総額で約六億一千万円、歳出総額で約五億二千万円と、歳入歳出ともに大きな伸びとなった。

歳入歳出差引額、五億六千八百

百四十五万六千円には、二十一年度予算化、二十二年事業執行を行う、繰越明許分約四億九千万円が含まれている。

国の緊急経済対策等による補正予算を取り入れ、事業の前倒しや新たな事業に積極的に取り組んだ結果として、全体としては大きく伸ばしたものの、一方では、長引く不況下での景気の悪化により村税は、五億九千七百九十九万六千円と、二十年度に比べ二億九千九百三十五万五千円、率にして四・七パーセントの減収となった。

このことは、村内の企業や住民生活の苦しい現状が数字としてもはつきりと表されているものであり、国によるもつと踏み込んだ緊急かつ効果的な対策が望まれる。



# 二十一年度決算 歳入・歳出大巾な伸び 財政健全化判断比率は健全数値

二十一年度の主な事業は  
総務費

有線テレビデジタル化（自主  
放送分）整備事業。  
各地区計画策定を含む自らつ  
くる地域づくり事業交付金、  
コミュニティ事業助成金など

住民協働による地域活性化・  
地域振興のための事業。  
民生費

はつらつ・ほほえ  
み・憩の家のエコ  
キユート整備、  
神稲児童クラブ  
建設工事。

衛生費

保健衛生では、  
各種検診のほか  
新型インフルエ  
ンザ対策や健康  
指導、健康管理  
対策などの事業。  
環境衛生では、  
一般廃棄物など  
の収集、処分委  
託事業とともに、  
ごみのさらなる

分別・減量化への取り組み。  
農林費

有害鳥獣駆除対策、松くい虫  
対策の他、交流センターだ  
い増改築工事、農業用水路改  
修工事。

商工費

商工会への補助、村振興資金  
利子補給、県信用保証協会保

消防費

小園消防詰所の建て替えと耐  
震性防火水槽の設置、防災計  
画（ハザードマップ）事業委託  
や避難所への照明灯設置工事。  
教育費

林業師堂及び佐原観音堂改修  
工事、小中学校への太陽光発  
電設置工事。  
などが実施された。

これらを含む二十一年度の執  
行状況を財政指標や財政健全化  
比率で見ると、法で定められた  
四つの判断基準では。

○**実質赤字比率**  
一般会計の実質収支は黒字で  
あり、実質赤字は生じていな  
いことから、該当なし。

○**連結実質赤字比率**  
一般会計の実質赤字及び公営  
企業会計の資金不足は、いず  
れも生じていないことから、  
該当なし。

○**実質公債費比率**  
十一・二パーセント  
前年より一・〇ポイント向上、

証料補給など拡充実施。  
土木費

佐原線や黒谷線などの道路改  
修工事。  
資材支給や除雪対策など道路  
維持修繕事業。  
戸建て賃貸住宅三戸（林里）  
の建築。

国の基準二十五パーセントを  
下回っていることから健全。  
○**将来負担比率**  
一般会計が将来負担すべき実  
質的な負債額は生じていない  
ことから該当なし。  
で、財政の健全性は保たれてい  
る。  
又、経常収支比率も七十四パー  
セントと柔軟性のある財政構造  
も保たれている。  
一方、財政力指数（自主財源  
の占める割合）は、年々わずか  
ずつ下降気味、二十一年度は、  
〇・三〇一となった。  
二十二年度の決算時には、試  
算で〇・二八七となるのではな  
いかとの数字も出ている。

自主財源の乏しい地方にとっ  
て、景気動向その他少しの風向  
きの変化によって、その財政運  
営は大きく左右されるだろう。  
国は補助金、交付金改革に当  
たっては、地方の現状や将来を  
しっかりと細かい分析と配慮の  
上に立って行ってほしいものだ。

最終日に上程された教育委員  
会委員（教育長）の任命のため  
の同意案については、質疑が行  
われた後、投票の結果、賛成六  
反対七で否決された。

**教育委員会委員の  
任命、同意せず**



太陽光発電（北小学校）

## 【請願・陳情】

●30人学級の早期実現、教職員定数増を求める  
意見書提出に関する請願

<採 択>

●「義務教育費国庫負担金制度」の堅持を求め  
る請願

<採 択>

●長野県独自の30人規模学級の中学校全校への  
早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員  
配置増を求める意見書提出に関する請願

<採 択>

# 決算特別委員会の質疑より

# 必要な防護柵

## 農業委員の責任は重大と思うが

川野議員 無投票とはいえ、選挙で選ばれた委員が簡単に辞任して社協事務局長に就任するのはいかがなものか。  
税務会計課長 本人のモラルの問題は在るかもしれないが辞表を提出して認められれば仕方ない。

## 今年も「だいち」の問題が出た

下平(喜)議員 「だいち」への職員派遣はいつまで続けるのか？  
「だいち」の今後をどうするのか？  
村長 まだまだパツとしたものが見えないので、もう少し継続してやってみたい。  
原議員 金だけでなく口も出せと前から言われているがその後村との関係はどうなっているのか。  
村長 理事会には参加していない。

## 有害鳥獣対策の早期実行を

原議員 有害鳥獣対策を今までのように猟友会に任せるのか、

柵等を作るのか将来的にどうするのか？

産建課長 「防護柵案」を含めいままでも二回検討委員会を開いているが、防護柵を設置する、しないは決まっていない。  
片桐(義)議員 防護柵設置後のメンテを地元でやれと言われても無理なのでそこまで考えてやってほしい。

## 街路灯LEDにする予定は？

川野議員 LEDは省エネで電球の寿命も長いと聞くが街路灯を切り替えるつもりはないか？  
村長 まだ値段が高いので、順次には思っているが今すぐに変えるということはできない。  
総務課長 区を行う新設や更新については、補助金もあるので薦めている。

## 人件費の質問も出ました

片桐(秀)議員 保育所では正規職員と嘱託職員が半々位ですが、人件費を抑えるためか、民間移行の準備のためか？  
村長 当面民間移行は考えていない。本来なら正規職員でいくべきとも思うが、賃金の安い嘱

託の人に頼ってしまっている。  
東垣外議員 国保連へ事務委託した分(三百万円弱) 役場の仕事が増えたのに、職員等が減っていないのはなぜか？

## 教育費にも前向きな質問が

菅沼議員 給食費が他町村と比べて当村は安いかなぜか？

村長 その他の仕事が増えていると理解してほしい。

教育長 米飯への村からの補助があるので、値上げせず充分な給食ができています。

片桐(秀)議員 教育委員会は役場庁舎に入るのか、入らないのか？  
村長 役場庁内に入ってほしいと思っっている。  
教育長 教育行政は他の場所(今の所)が良いと思っっている。



改修された「だいち」だが今後どうする

# (有害鳥獣対策)

# より深い研究が

## 村道改修工事の 対応に差が？

**丸岡議員** 村道修繕工事の地元負担金はどんなふうに課しているのか？負担金を地元が払えない為、地元が上げてなく、工事をせずその場で事故等あった場合は地元責任か？

**村長** 責任は村にあると思う。  
**産建課長** 資材支給で対応願えばかなり地元負担金は減らせるのではないか。

**丸岡議員** 村の道路を管理していく時、村の対応が各地区によって違いがないほうがいい。

## 国民健康保険特別 会計では

**唐沢議員** 短期証の発行はなるべくやめるよう要望してきたが、発行しなければならぬ場合の判断基準は？

**総務課長** 未納残高が十万円以上で、分納の約束やその他の条件において一ヶ月、二ヶ月有効に分けて発行している。もちろん生活実態も加味している。

**唐沢議員** できたら最低でも六カ月にしてほしい。  
**総務課長** 未納の回収にも苦勞している。



道路修繕、時には災害待ちもあり得る

## 老人医療特別会計

**片桐(秀)議員** 国保の支払いが極端に多いが、何の病気でそうなったのか参考までに聞きたい？  
**住民課長** いちばん多いのはやはり癌である。部位はいろいろで、金額では、おひとりで千七百万円かかった方もおられる。

**前沢議員** この事業は今年度終わりまで事務処理が残っているだけで、問題がない。

## 介護保険特別会計

**川野議員** 家庭介護者の慰勞手当が何年か前に大きく減額されその際に、他の面でカバーすると聞いたが実際はどうなっているか？

**住民課長** 介護者ひとりに十二万円支給していたが、介護機関の充実などあり、不要と判断され県の助成九万円が削られた。しかし、この村では村負担分の三万円を残した。

## 簡易水道特別会計

**前沢議員** 堀越の有収率が特に悪いのはどうしてか？

**環境課長** 漏水が主原因。昭和四十六年、四十七年の敷設で管

の老朽化、特にソケット部分に多くの漏水がある。

**丸岡議員** 敷設替えはしないのか、二年前には「まだまだ大丈夫」と答えてくれたが。

**村長** 二十三年度から準備に入ろうと考えている。

**丸岡議員** 今回の給水停止は重大な事で過去にあったか、また実行までに予告等充分にしたか。

**環境課長** 初めてのケースである。水は生活に大切なものなので慎重に対応したが、特にひどい(払えるのに払わない)と思われるので、やむなく実行した。

## その他こんな意見 もありました

**松村議員** 村税、国保税、上下水道料金等の収納率が低下している、下水道も上水道と同じ方法で回収をはかったらどうか。

**壬生議員** 下水道会計に、一般会計からの繰り入れは浄化槽の人には不公平ではないか。

**下平(豊)議員** この会計方法がどのような経過でそうになっているのか、村民も議員も理解不足なので、当初の申し合わせ資料が在る筈なので出してもらって、理解しあっておいた方がよいのではないか。



# 歳入歳出総額は 三十六億三千万円余に —二十二年— 一般会計補正予算第二号で

二十二年一般会計補正予算第二号は、二十一年の繰越金の確定などを受け、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ五億一千二百七十七万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、三十六億三千百七十七万三千円としようとするもので、予算特別委員会で審査の上、二十一日の本会議に於いて、全会一致で可決成立した。

—主な追加事業と予算額、それに対する質疑は次の通りである。—

## ○ 税収について

**丸岡議員** 個人村民税の減額三百五十万円は、見込みが立たった数字か。又法人村民税の補正が出ていないが、当初予算との動きはどうか。

**税務会計課長** 個人の村民税は六月の課税時点で、ほぼ確定。法人の村民税は景気の不透明で未確定な部分がある。

## ○ 土地購入について

**松村議員** 旧役場跡地南側の土地を購入したいとしていた件は

どうなっているのか。

**村長** 購入の方向で了解頂いているが、税務上公共機関で購入する場合、施設等作らないと納税軽減の有無があつて、未だ進展していない。

## ○ 総務費

地域公共交通活性化・再生総合事業負担金  
二百五十三万円

**丸岡議員** 公共交通の補助金の減額にともなう補正は何か。

**総務課長** 当初国庫補助金は二分の一を計上していたが、交付金が四分の一に抑えられた事から、バスの実施運行補助金二百五十一万三千円を補正するものである。

どうなっているのか。



地域おこし協力隊員の派遣が予定される加工組合

## ○ 選挙費について

**菅沼議員** 知事、県議補選、参議院選挙費の減額は、投票時間繰り上げ等されたゆえか。

**議会事務局長** 林原、木門では繰り上げ投票実施した。減額予算は当初計画したが必要としなかつたものである。

## ○ 農業振興費

地域おこし協力隊員報酬  
三百五十万円

**唐澤議員** 地域おこし協力隊員報酬費とは何か。

**産建課長** 総務省から三千人を地方へ三年間派遣し地域の農産

加工所へ籍を置き、農政サイドの支援をするというもの。交付金で一人三百五十万円の研修活動費が支払われるもので、当村でもこの制度を活用し十月より二人受け入れたいと公募中である。

**東垣外議員** 反応はどうか。

**産建課長** 二名の応募がある。片桐(義)議員 募集要項の主旨は何か。

**産建課長** 農産加工に興味のある方としており、農産加工品の販路拡大に寄与できる方として

いる。  
**原議員** 対象者の勤務管理は、

どこで行うのか。

**産建課長** 産建課であり、だいち、加工組合としている。

**川野議員** 住居はどうするのか。  
**産建課長** 空家を考えている。  
**片桐(秀)議員** 人件費二百万円とされているが、村費上乗せはどうか考えているか。

**産建課長** 国の予算額内と考えている。

## ○ 健康増進費

施設整備工事費  
百十五万二千円

**唐澤議員** 健康増進費の施設整備とは何か。

**住民課長** 役場を中心とした、ヘルスアップ事業として、ウォーキング、ランニングコース設置と、イベント料、看板等を作るものである。

## ○ 老人福祉費

地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金  
三百万三千円

**川野議員** 地域介護の施設整備補助金とは何か。

**住民課長** JAあぐり河野の防火装置のスプリンクラー工事を補助金を国へ申請し、補助金を一旦村が預かるもので、トンネル処理するものである。

○農業振興費

農業総合振興事業補助金

三百五十万円

菅沼議員 柿むき機の助成申請状況はどうなっているのか。

産建課長 今回補正で七台分となっており、現在確定十三台となっている。

唐澤議員 要望に対する内容はどうか。

副村長 審査委員会結果は十一件(二十二名)の申請があった。内条件が満たされていない一件を却下した。

菅沼議員 この事業で地域ブランド品作りが継続される証で心強い。

壬生議員 一件却下の理由は。

副村長 産業を起こす補助事業である。自家用しか望めない内容と審査した結果である。

○道路新設改良費

施設整備工事請負費

三千六百五十万円

唐澤議員 施設整備費負担金の内容は。

産建課長 主なものは、壬生沢線改良工事千六百万円、中学校通学路改修千二百万円、佐原線路面改良五百万円、他となっている。

○学校の暑さ対策について

前沢議員 今年の猛暑で小中学校の授業は大変だったと思う。校長室、保健室へクーラー設備をし緊急避難的に対応はできないものか。

教育長 中学校3Fは最高に暑く授業にならなかった。しかし多目的な教室への設置を含め将来は検討の余地はある。当面は扇風機等で対応を考えている。

○教育総務費

重機借り上げ料他発掘調査費等

菅沼議員 重機借り上げ料の八十八万円とは何か。

教育事務局長 今回は林のJAI-GSの跡地の埋蔵文化財の発掘に要する重機代である。

○教員住宅管理費

維持補修工事請負費

二百五十万円

川野議員 教員住宅の間取り改修は何か。

教育事務局長 昭和四十一年築の小原市の住宅で間取りが悪いため、村費でこの二戸を改修するものである。

○中学校管理費

維持補修用原材料

二十万円

唐澤議員 補修材料費とは何か。教育事務局長 来年度の障害児童への対応策で、めすき板の改修をするものである。更に十二月補正で提案予定として、特別教室への階段、水道蛇口等の改修や対応が必要である。

菅沼議員 今いる補助者はどうなるのか。

教育長 そのまま持ち上がる方向でいる。

下平(喜)議員 これ等の対応として国庫補助対象とならないか。教育事務局長 今の所補助対象外でやりたいと考えている。

○公民館費

講師等謝礼

十二万円

下平(喜)議員 講師謝礼とは何か。

教育事務局長 イクメン講座と朝食をしっかりと摂ろうと、パン作り講座を四回を八回に変更し

た講師謝礼である。

○簡易水道特別会計

維持管理費

施設整備工事請負費

四百六十二万円

川野議員 河野第三水源ポンプの突然の停止はどういう事か。

環境課長 平成十八年新調のポンプが、二年後故障し今回同じポンプが稼働停止。原因が解らず対応に苦慮している。今回は喬木村より同型を借用し対応した。緊急を要するので四百六十二万円の補正を計上した。

○下水道事業特別会計

伴野農業集落排水事業の機能強化事業について

唐澤議員 伴野農業集落排水事業の機能強化事業は、一括発注が可能か。

環境課長 二十二年度含め一、五億円の財源確保は国の財政難があるが、県の指導を仰ぐなかで最悪の事態は避けたい。

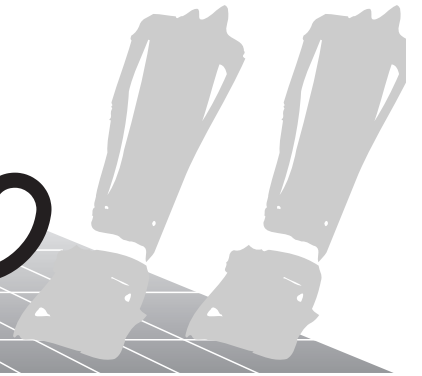
東垣外議員 施設の老朽化や処理能力上、まったなしと聞くがどうするのか。

環境課長 機能強化を計る上から、県下をまとめて国へ申請するうえで、先に工事を行った所が有利とみられる可能性が有ると判断している。



南小学校駐車場として購入予定のJA神稲スタンド跡地

# しつもん



## 質 高齢者が安心して暮らせる村づくりについて 答 安否確認は今後の課題に

川 野 孝 子

**質問** 六十五歳以上のひとり暮らしの高齢者は男女合わせて、百五十三人となっている。安否確認はどの様にされているか。

**住民課長** 七十歳以上のひとり暮らしの方には週一回ヤクルト配布により安否確認をしている。自立支援ヘルパーによる介護状態になる前の方で簡単な家事を援助するというもの。現在七名の方が利用している。(この二つの事業は社協へ委託している)

**質問** 高齢者の安否確認として泰野市ではごみが出せない方のごみを職員が集めにまわり安否確認とごみの収集の一石二鳥の取り組みを報道番組で知ったが村長はこの方法についてどう考えるか。

**村長** 現在、環境保全対策委員会を開いて条例改正又ごみの収集方法等の見直しを審議している。居宅訪問サービス事業とも関連しておるので協議をしながら道筋をつけてまいりたい。

**質問** これからの住宅施策として古くなった教員住宅、高齢者専用住宅又、格安の家賃を希望する人も結構いると思

われるがそれらをひとつにした集合住宅は出来ないか。  
**村長** 先生方のニーズもある訳で高齢者の方と一緒に集合住宅へ入るとするのは好かれないのかなと思う。教員住宅となると国の補助金もむずかしい。高齢者のひとり暮らしの方も増える中、又、低所得者の人たちの住宅も含めてニーズに合った取り組みをと考えている。



9月26日に行われた敬老会から

## 議会活動報告

七月～九月

### ◎七月

- 一日 議会だより編集委員会
- 四日 天竜川河川清掃
- 八日 教育懇談会
- 十三日 議会だより編集委員会
- 十六日 北部ブロック議員研修会
- 二十一日 総務産建委員会
- 二十六日 県議長会議員研修
- 二十八日 定例全員協議会

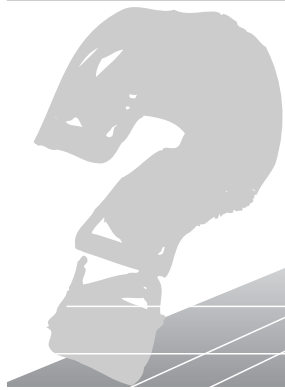
### ◎八月

- 六日 県議長会監査及び役員会
- 十一日 林業活性化促進議員連盟総会
- 十二日 北部議員勉強会
- 十七日 総務産建委員会
- 十九日 社会文教委員会
- 二十日 決算監査(八月三十日まで)
- 二十五日 北部正副議長・事務局会議
- 二十七日 下伊那郡町村議会議長会
- 三十一日 監査委員研修会
- 三十一日 定例全員協議会
- 三十一日 議会運営委員会

### ◎九月

- 一日 決算監査報告
- 三日 第三回定例会開会
- 六日 決算特別委員会
- 六日 全員協議会
- 六日 一般質問締切
- 七日 議会だより編集委員会
- 七日 総務産建委員会
- 七日 社会文教委員会





# いっぱん

## 質 リニア新幹線は豊丘を通るか 答 Cルートなら通ると思う

片 桐 秀 人

**質問** リニア新幹線のルート決定は年未頃と聞いているが、村長はどのルートになると思うか。

**村長** 期待も含めてCルートを予想している。

**質問** Cルートになった場合、豊丘村を通過することになると思うがどうか。  
**村長** Cルートになった場合は、地下又は地上は別として、豊丘村内を通過と考えている。

**質問** 今、広域連合や広域議会は、リニアの駅を現飯田駅に併設を運動しているが、可能性は。  
**村長** 併設という理解だろう。

**質問** 私はこの質問をするために山梨県南巨摩郡早川町のボウリング試掘口の現場を視察に行つて来た。大鹿村釜沢でも試掘をしている。この二点を地図上で追つてみるとほぼ直線であり、その延長上は当村の野田平になる。いろいろな予想はあるが、当村の南端を通る予想もある。飯田駅併設となると村の中央部を通過することになると予想される。リニアは騒音、振動、



山梨県早川町ボーリング工事現場

電磁波、環境などの影響が懸念されている。このような公害の問題も避けて通れない。このあたりの問題をどう考えているか。  
**村長** JR東海は、現時点で営業できると発表している。振動、騒音、電磁波も基準値をクリアしていると聞いている。  
**要望** 豊丘村を通過するとなると人ごとではない問題である。  
その辺のところも考慮して運動を進める必要があると指摘して置きたい。

### 「北部ブロック町村議会、議会活性化講演会」

主催 北部ブロック町村議会正副議長会  
後援 下伊那北部総合事務組合

#### 1 目的

○北部ブロック町村議会正副議長会では、下伊那北部5町村(松川町、高森町、喬木村、豊丘村、大鹿村)の議会議員や関係職員が、議会改革や議会基本条例の制定に向けての研究をするために、専門家から知識を得て理解を深めるとともに学習をし、今後に役立てることを目的に講演会を開催します。

#### 2 日時

平成22年11月30日(火)

午後1時30分～午後3時40分

#### 3 場所

豊丘村保健センター二階大ホール

(豊丘村役場隣)

#### 4 内容

演題 どうする!? 町村議会

— 議事機関としての議会機能の強化による議会改革 —

#### 5 講師紹介

江藤 俊昭(えとう としあき) 先生

山梨学院大学 法学部政治行政学科教授

著者略歴 1956年東京都生まれ 中央大学法学部政治学科卒業  
中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学  
博士(政治学) 山梨学院大学 法学部政治行政学科教授



- 八日 総務産建委員会
- 九日 社会文教委員会
- 十三日 決算特別委員会
- 十四日 要望書提出(下伊那地方事務所)
- 十五日 一般質問
- 十六日 決算特別委員会
- 十七日 予算・決算特別委員会
- 十八日 議会運営委員会
- 二十一日 南北小運動会
- 二十四日 第三回定例会 再開
- 二十五日 全員協議会
- 二十八日 北部地区県陳情
- 二十九日 南北保育所運動会
- 二十九日 北部地区県知事へ要望  
県議長会研修会  
村敬老会

### 質 吉川村政三期目の総括と更に続投か

#### 答 課題山積、任期中精いっぱい努める

菅 沼 敏

**質問** 吉川達郎の公約を検証する中、村民との対話をベースに、誠心誠意頑張つて来られた。公約はほぼ実行実現されるであろうと評価したい。しかし乍ら、活気溢れる村づくりへ花開き実をつけるは、むしろこれからではないか。人口増、村の産業は、教育施設は整つたが、文化施設や火葬場は、又村をとりまく諸課題等々課題は山積している。吉川村政あと六ヶ月となったがどう総括し、続投あるか否か伺う。

**村長** 村長になって十一年半がたった。本当に早かった感がある。政治状況は、まさに列挙された通り課題山積している。今は村や南信州の現在、将来のことを合わせて、微力であるが今の任期中、精いっぱい努めなければならぬ事であり、来年どうするという事は、今議会では控えさせて頂きたい。

**総務課長** 隣組は地域コミュニティの核であり、重要な住民組織である。ゆえに行政が音頭をとり再編の推進は好ましくない。隣組、自治会で十分話し合いのもと、住民総意で再編統合を進めるのがベストと考える。

**質問** 下水道普及率一〇〇%の課題は。

**環境課長** 未設置世帯は独居高齢化、経済的理由世帯で、先行き不透明で踏み切れないのが実態である。

**質問** 隣組再編への推進を、村内七区の隣組数は二六八組。内一戸く五戸で構成の隣組みは二四%である。日々の暮らしや一朝有事に備え、安心して暮らせる生活環境を守る隣組戸数単位を、八く十戸とする事を行政指導できないか。



質問に答える村長

### 質 村民の目線にたつた村政運営を!!

#### 答 「信頼と対話」で村政運営している

東 垣 外 厚

**質問** 村発足以来初めて、人口が七千人を割り込み、今後大きな課題となっている。人口増対策と称して、給玉で飯伊の人口を取り合つてみても無意味と思う。中山間地等から他町村への移住を考えている人や一人暮らしで不安な方などの調査を事前にしておいて、村内移住の手伝い(補助金含む)や高専賃、グループホームで対応できないか。

**公共交通**、足の確保は大きな課題でいろいろ試したり、検討はしているが、空バス運行には非難も多い、「福祉タクシーこそ最高のデマンドだ」と言っているコンサルタントもいるくらいなので、この福祉タクシーをもっと大勢の人がもっと安く利用できる方法を考え、公共交通にした方が便利で近道とおもうがどうか。

今回の決算審議でもお金の使い方にも疑問な処がある(不正があったという事ではないが)、天下りが関与していると思われる団体が発行している小冊子の購入、各種負担金や会費等への支出が相変わらず多い、簡単に止められない理由もわかるが、今度の知事選でも分かるように村民は「それを仕分け



飯田市箕瀬にある 高齢者専用賃貸住宅

してくれ」と言っている。理事者や職員はもっと村民の目線で仕事をされたい。

**村長** 「信頼と対話の村政」を政治信条としている。議会を軽視したりしていないし村民の気持ちでやっているつもりだ。

質 未満児保育がふえてきているが

答 子育て支援に反さないよう取りくむ

片 桐 眞理子

質問 未満児保育のニーズが高まってきている。増える方向をどのように取り組んでいくのか。また課題について伺う。

保育所長 未満児保育の需要が高まってきた事は、子育て支援策が浸透してきたととらえている。保育に欠ける程度の高い順に実施せざるを得ないかと考えるが、子育て支援に反する事のないように取り組んでいく。課題は希望者の把握に努める事と施設の拡張、財

政問題である。  
質問 保育園の民営化が進んできている。保護者の理解を得る事が一番大事であると思うが村長の考えを伺う。

村長 先進事例など検討はしたいと思うが、保護者との間で話し合う所まで気持は傾いてない。  
(雇用創出について)

質問 人口減少の要因の一つに雇用の乏しさがある。雇用創出に効果的なものは企業誘致であると思うが村のとり組みについて伺う。また地域資源を活用した製品を開発して都市部に売り込む「地産地商」で地域の雇用を少しでも生み出すという方式もあるがどう考えるか。

元気に外遊び(南保育園)



村長 この経済状況の中で新しく進出する企業も少ないが、伴野工場団地の北側に下水道又道路も拡幅し来て頂けるように、パンフレット等も準備中である。  
産建課長 計画の段階だが、企業、学校給食会、加工所、「だいち」が提携し村等が後押しをして「南信州竹の子プロジェクト」のようなものを立ち上げたかと考えている。

質 これからどう進めるか火葬場

答 現段階では凍結白紙

壬 生 章 男

質問 いまなぜ火葬場が凍結、白紙になったのか。

副村長 火葬場の問題は非常に微妙な内容であり、五町村でそれぞれ十六ヶ所の候補地を挙げて検討をして最終的に豊丘村、松川町の二カ所で地元との調整をしながら検討していこうと努力をしたが、地元との調整の過程の中、進め方の手違いが発生し、地元の十分な理解を得られない中、撤退せざるをえなくなり、またその問題ではつきりけりのついた状況ではなく次の段階へ進むことができず残念だ。

は長年の豊丘の夢である。実現に向かつて取り組んでいく必要がある。したがってこの架橋とある程度かかわりのある所へ火葬場があればという思いでいる。今議員の言われるような場所についても、三つ目の候補地として上がってきたのかな、という雰囲気は当時あった。

質問 現実的には地元の反対でどちらも駄目になったわけだが豊丘河野ときめた時、河野地区とこの問題で話し合いをすべきではなかったか、河野の人からも処理場のとなりでも良かったのではとの声もよく聞く。又河野地区には架橋の問題もあり火葬場と合わせて話しを進めるべきではなかったか。この問題はテニスコートや文化施設より大事な問題であり村長は率先して、北部五町村をまとめるべきだ。  
村長 架橋をあそこの位置へ



架橋と火葬場、実現は可能か



質 今後のゴミ処理計画について

答 減量の方向で計画

前 沢 光 昭

質問 桐林クリーンセンターが出来てから七年経過した。平成十四年に非常に多額のお金を投資しガス溶融炉を建設した。地元竜丘との約束で出来てから十五年後には他の場所へ出て行かねばならない。当時ダイオキシン問題もあり、雰囲気からこの約束は大変堅いものといわなければならぬ。広域連合は協議会を発足し処理方式や場所の検討を始めるが年々燃やすゴミは減量が進み、桐林の焼却場では運用開始時から見ると八十五%までになっている。環境問題からCO2削減や経費の問題まで、さらに減量を進めるには燃やすゴミに含まれる生ゴミが四十%の分別が必要、現時点の広域連合や村長の考え方は。分別のためには自治体ごとの堆肥化事業の検討、それを契機に循環型のシステムの構築ができるはず。生ゴミ堆肥化を進められないか。

村長 建設時にはダイオキシン問題が非常にクローズアップされており、ガス溶融炉は当時新しい技術、あまり先進事例もないなかでの導入で連合内でも一部反省している部分もある。環境課長 生ゴミのコンポスト

及び生ゴミ処理機の対前年比5%以上普及をめざすなどしている。堆肥化については産業建設課との連携もしながら普及啓蒙活動に努めたい。

産建課長 施設化の場合異物混入や堆肥の質の問題がある、飯田市下久堅の例は異物混入も改善された。しかし施設化となると相当大きなお金もかかるので個々で処分されるほうが良いと思う。



7年を経過した桐林クリーンセンター

質 NPOの育成を視野に

答 注目したい

丸 岡 茂

◎住民参加について

質問 村政懇談会出席者が年々減少し、昨年は史上最低に。解体し新たな方策を構築すべきだ。

村長 地域課題は区や公民館役員に任せている面もあるのではないかと改善は考えたい。

質問 社会の課題に対し、自らの手で改善、解決してみようという活動を活かすNPOやボランティアを育てる事を視野に入れたらどうか。

村長 以前からボランティアは必要だと思つ。NPOは知事も考えを持っており注目したい。

質問 例えば村内のNPO・とよおか総合型地域スポーツクラブは、様々なメニューで子供の健全育成や高齢者の健康づくりに貢献がある。新しい公共サービスの担い手として、こうした活動が期待される。

◎道路の維持管理について

質問 道路修繕は道路を正常な姿に補修するもので、道路管理者(村)の責任。新設改良と同様に地元負担をさせるのは筋違いだ。

村長 地域に都合よくなるし、頼めばただで、となつても困る。

産建課長 修繕と言いながら拡幅、改良的な申請もある。



NPOによるサッカークラブ

質問 それは村で区分すればよいことだ。一例として、写真の路肩の痛みは数年前から申請されているが修繕されない。

産建課長 緊急性で判断する。まだ通行に支障は少ない。

意見 放置してわざわざ大きくする理由が分からない。今年度も繰越金は五億円を超える。不透明な将来に備える気持ちもわかるが、今は使うことも考える時だ。無駄な投資ではない。



地域公共交通会議の様子

**質** 交通体系の改善は慎重に検討を  
**答** 十分研究したので方向付けを

唐 澤 啓 六

質問 今後の豊丘村の公共交通について、現行の村営バス主体の体系に改善を加えていくのか、あるいは全く新しい体系（デマンドシステム）に取り組んでいくのか、地域公共交通会議で論議されている。新しい方式を導入する場合は、先進事例を視察調査等して判断していくことが必要と考えるが。

「国保広域化」への認識は

質問 医療制度改革の議論の中で、国保についても様々な検討がされている。この中で最大の焦点は、国保の広域化問題である。「広域化」とは、現在の市町村単位での運営を県一本の組織にするもので、被保険者の声が届きにくくなること、又医療と保健の連携の面から見て、保健活動が後退する恐れがある。「国保広域化」についての村長の基本的な認識を問う。

村長 国保は低所得者や高齢者が多く保険財政が厳しいという構造的な課題がある。今後、医療費が伸び続ければ市町村単位での運営は非常に厳しくなり、保険者として小規模では対応できないので広域化はやむを得ないかと考える。

※この他に「ゲリラ豪雨」による内水氾濫の防止対策について質問したが、紙面の都合で割愛させていただく。

**質** 国保被保険者証のカード化を望む  
**答** 責任ある使用を啓蒙し、前向きに対応

片 桐 義 憲

質問 国民健康保険法施行規則が改正され、保険証は一人一枚のカードとして持つことができる様になっている。全国的にもかなり多くの市町村でカード化が実施されており、好評を得ていると聞いている。当村では、いまだに世帯証であり、家族に病院にかかる者が複数いる場合には不便であると指摘されている。この様な指摘に対し村長はどうお考えか。又今後の方向性について伺う。

には一枚百十円年額七十万円程。県では半数、市は全て、松川、喬木は十月より移行。毎年交付は、法規則で義務づけられている。長野県は十月一日に統一されている。  
要望 病気や疾患の早期発見、早期治療がなによりも重要。カード化することにより即対応がしやすくなる。又携帯しやすいサイズにすることは、時代の趨勢でもある。

又、当村に於ける複数記載の保険証の割合、カード化に伴う費用面での試算した経過、近隣町村の実態。内容変更が無くても毎年更新されているが、行政経費の無駄ではないか。についても住民課長に伺う。  
村長 指摘のように、家族の多い方は特に不便を感じていたと思われる。と同時に一人一枚のカード化は社会的に無責任な扱いをされることも懸念された。しかし時代にあわせてスタイルがかつ被保険者に注意を呼びかける中で新年度に向け前向きな検討を進める。  
住民課長 退職、一般国保の約半分の方が複数記載。カード化



携帯しやすいカードサイズを望む

質 一括交付金化、見通しと影響は  
答 国の動向を注視しながら対応

松 村 正 三

質問 政権交代後、政府・民主党は、地域主権戦略会議を発足させ、地域主権戦略の進め方についての工程表いわゆる原口プランを提示、その一部が本年六月に、大綱として閣議決定された。その中の一つに、国から地方への「ひも付き補助金」を廃止し、基本的に地方が自由に使える一括交付金にするとの方針の下、現行の補助金、交付金等を改革する旨の内容が示されている。然し、一括交付金化への制度設計がはっきりと示されていない今、不安視する声のある中で、一括交付金化された場合、今後の財源見通しと、村財政への影響をどうとらえているか。

副村長 地方の職員の能力の差が、地域の経済力や生活力などいろんな面の力の差となる可能性がある。職員の能力アップ、全力をあげて考えていきたい。

総務課長 一括交付金の制度そのものがまだ不透明な段階であり、地方の行政レベルではまだ見通しをつけづらい所だ。

今後、国の動向を注意深く見守りながら対応していかざるを得ないと考えている。

質問 地域主権という形の中で、各々の自治体が、自由発想をもって地域をつ



常に国の動向を追え ——企画財政係

北部ブロック正副議長  
県知事 県議会議長らへ要望活動

下伊那北部五町村の正副議長事務局長が、九月二十四日、九月二十八日に、長野県庁に出向き、十四の議題を県知事・県議会議長、県議会常任委員長、教育長へ要望・陳情活動を行った。

この十四の議題は、七月十六日に豊丘村で開催した「北部ブロック議員研修会」で協議、採択されたものを、正副議長・事務局長会議で検討をし、まとめたもので、九月二十四日に

は、県議会正副議長、各常任委員長、教育長への陳情となり、各町村の正副議長、事務局長が出席して行われた。九月二十八日は、県知事に各町村の議長五名で要望活動を行った。



県議会議長への陳情活動（9月24日）



県知事への要望活動（9月28日）



# 社会教 文

## 子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を県知事に要望

社会文教委員長 丸岡 茂

毎年行われる北部ブロック議員研修会で、豊丘から表記の件を提案し、五町村議会連名で県知事に要望した。

子宮頸がんは、二十歳代では乳がんを抜いて発症率が最も高く、

# 委員会だより



中学校の授業風景

長引く経済不況の折、貧困と格差の拡大の中で「税」や公共料金の滞納が増え続け、平成二十年度における滞納累積額は市町村税で二百四十六億円、県税で六十六億円余となっている。

こうした中で、地方税の滞納整理を効率的に行う目的で、市町村と県が連携して滞納整理機構を行う組織を設立しようとするものだ。組織の名称は「長野

## 総務建 産

### 「長野県地方税滞納整理機構」の規約を審査、可決

総務産建委員長 唐澤 啓 六

どの子も健やかに育つてほしい——みんなの願いだが、学校は様々な課題を抱えている。教師と一人ひとりの子供たちの心の通い合う教育が求められ、そ

のためには一学級あたりの定員を減じる必要がある。長野県ではすでに小学校の三十人学級を

含む全地方税で当面は大口困難案件を処理することとされているが、将来は職員を三百人近くに増員し全ての滞納案件を処理する方向が検討されている。

◎本村のような農村地域では悪質な滞納ではなく、現在の経済状況の中で払えないケースがほとんどではないのか。個々の事情が解らない「機構」の徴収にはなじまないのでは。半ば強制的な取り立てが行われる心配がある。

◎村は納税の責務をもっとアピールする必要がある。

等々の意見が出され、採決の結果は賛成五、反対二で原案が承認された。なお、本会議においても質疑討論の後、賛成十、反対三で可決された。



シリーズ「私、がんばっています」

周囲に困っている人が居ればお互いに助け合うこと。地域や自治会は率先してそのお手伝いをするのが大切。二年前山田の自治会長を務め、あらためて、相互扶助の強い村、生まれ変わっても豊丘に住みたい。そんな思いを語る山田の森下博登さんを訪ねました。

博登さんは、天龍村中井侍の生まれの五十七才、高校卒業後東京で六年間の生活後帰郷したUターン者だ。下伊那、とりわけ豊丘村は自然と人が調和し、



みなさんはお祭りの笛の音をじっくり聞いたことがありますか。私は子供達が北小でお囃子子供会で楽しそうに

私の一言

笛を吹いているのを見て、笛が吹けるようになりたいと思、河野の獅子お囃子保存会に入ってもらいました。河野のお囃子に

地域で文化の継承を

中芝 武田 富美子

は、子供会がやっている四曲の他に三曲あります。練習はお祭りの前だけなので七曲覚えるのに何年もかかりました。でも少し吹けるようになって、楽しくてもっと上手になりたいと思うようになりました。また河野の獅子舞には、南信地区でも数少ないおかめも共に舞います。私は二年前からおかめ踊りも習っています。一曲で約五分間の曲ですが、なかなか奥が深くて難しい舞です。息の合った舞が舞えるよう、仲間と楽しく練習を

いた事は、大変うれしく感謝している。そんな人柄や、居住環境が山田への住宅新築の志を固めた。平成十二、西駒を背に又、子供達と一緒に住みたいとの思いで二階造りの大きな家が、会所東側に建てられた。

三人の男の子も社会人となり家から務めに通っている。一男は、目と鼻の先の村の賃貸住宅に入る事ができ家族全員が近場で、和気あいあいの生活をされている。うらやましい限りである。

博登さん

んは、東登興業へ勤務。不動産や現場管理が主な仕事。

そんな仕事上、いろいろな地域を見てきた。豊丘村では今までト

ラブルもほとんど無く工事が進められた。隣近所のお付き合、

人間関係はピカイチと、おほめた。生え抜きの私には、良いにつけ、悪いにつけ寛大すぎる住民性をもつ村なのか？とも思うが、他地域から転入された方から言われてみて、村の良さをあらためて思い知る取材ともなつた。

一朝有事には、助け合う精神が何よりも肝要。担架一つでもよい、ヘルメットやバケツも人命救助に大いに役立つ、そんな思いから、自治会長時には自主防災組織の立ち上げや、防災備品の整備に尽力された。又、日向沢の水路改修、要望等、精力的に取り組まれた。

趣味も多彩。スケールの大きな油絵や水墨画も拝見している、夕刻、家あかりに映り出される庭木や盆栽に見送られ森下家を後にした。



助け合いの強い村と語る森下さん

編集後記

▼猛暑、異常な暑さは、梅雨明けと同時に列島を包み、二ヶ月余も続いた。それは、我々に様々な影響を及ぼし、多くの人命をも奪った。猛暑の終息から一ヶ月、時の流れは、あの時の暑さの程度や苦痛の程度を、もう忘れさせようとしている。

▼特産の松茸、長期にわたる猛暑、そしてその間の小雨、作柄が危ぶまれていた。彼岸以降の気温の低下と降雨が、きのこ類の育成環境に良好に作用したのか、大豊作となった。森林組合豊丘支所にも、連日多くの出荷が続く、多い時は、日量四百キログラムを超える出荷があったとも聞く。豊作は、消費者にとっては、地物を味わう絶好のチャンスだったかもしれない。

▼教育委員会委員、その任命に関わる同意について、議会は賛成六、反対七で同意しなかった。人事同意案に対しては、無記名で「○」か「×」かの投票で行われるので、議員個々の考えは、議員間でも解らない。教育委員会委員とは言い、今回は教育長人事に関わること。理事者の本会議への「ぶつけ提案」に、疑問の声もある。